



公明党 藤浪 清司 議員

- 1 公用車のカーリースについて
- 2 ごみのふれあい収集について
- 3 地籍調査について
- 4 BCP(事業継続計画)について

質問1 昨年12月の一般質問で、経費節減と管理事務量が軽減できる公用車のカーリース化を提言したが、検討した結果と取組みについて尋ねる。

答弁1 見積りを徴収したところ、購入と比較してリースの方が若干有利であった。平成25年度に、試行的に数台リース車の導入を検討している。

質問2 ごみ出しが困難な要介護の高齢者や障がい者の単身世帯を対象に、玄関先からごみを収集すると

ともに声かけを行うふれあい収集を実施してはどうか。

答弁2 本市としてもその必要性を認識しており、今後関係部局と協議して検討したい。

質問3 鈴鹿市の地籍調査の進捗状況と、今後の取組みについて尋ねる。

答弁3 平成23年度末の進捗率は、14.85%。今後は、民間活力の導入について検討し、沿岸部の市街化区域を中心に進捗していくよう努力する。

質問4 緊急時に必要な業務・事業を継続して行うための計画(BCP)について、鈴鹿市の策定状況と民間企業への啓発・推進について尋ねる。

答弁4 平成25年度中には、全庁的な業務継続計画を策定する予定。市内企業に対しては、BCP普及に向けた啓発や積極的な情報発信を進めていく。



すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- 1 子ども図書館設立について
- 2 地域維持型JVについて

質問1(1) 江島カルチャーセンターを子ども図書館と子育て支援の拠点にしてはどうか。

答弁1(1) 文化課と図書館で、江島カルチャーセンターの図書館分室化に前向きに取り組みたい。サービス方針策定の中で検討していく。

質問1(2) 空調設備の修理はどうするか。

答弁1(2) 修理しながら対応して考えたい。

質問1(3) 事務所と図書室を隔てる壁を撤去し、広い空間としてはどうか。

答弁1(3) 利用者や関係者のご意見をお伺いして考

える。

質問1(4) 図書館ビジョンへの取り組みは。

答弁1(4) 当面は、図書館を改修、修繕して、維持管理をすることが、図書館サービス提供の方向と考えている。

質問2(1) 国交省から通達された地域維持型JVについて、現在の鈴鹿市の取り組みと情報収集の状況は。

答弁2(1) 現時点では取り組みはまだである。

質問2(2) 国や県に対して、鈴鹿市として提案し、共同で実践研究できるのではないかと。市の見解は。

答弁2(2) 契約における公平性、公正性、競争性、透明性の確保も十分に考慮しながら、地域維持型JVについて庁内連携で検討したい。



日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 市長等の給与と退職金について
- 2 リニア中央新幹線計画について

質問1 市長など特別職の退職手当は、1期4年ごとに支払われ、市民感覚からかけ離れた特権的なものである。三重県知事のように、これを返上または減額する考えはないか。昨年支払われた前市長、前副市長の退職金はいくらか。

答弁1 今後、退職手当の見直しが必要と判断したときには、皆様方のご意見を聞きながら検討していきたい。前市長の退職金は約1904万円、前副市長は約1028万円であった。

質問2 昨年5月、国土交通大臣がJR東海に中央新幹線の建設指示を出し、JR東海は東京名古屋間を2027年、東京大阪間を2045年開業、建設資金9兆円以上との計画で動き出した。鈴鹿市も通るルートが予定されている。しかし、リニア新幹線には多くの問題がある。路線の80%がトンネル、その大部分が地下40メートルの大深度、使用電力は新幹線の3倍、運転手の乗らない遠隔操縦、強力な電磁波の人体への影響など安全面の不安も大きい。1時間半ほどの時間短縮のために、巨額の資金を投じる必要性についてのまともな説明もない。リニアを推進する三重県期成同盟会に鈴鹿市も入っているが、見直すべきである。

答弁2 リニア新幹線は、地域にとって重要なプロジェクトであり、引き続き同盟会に参画したい。